

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和5年5月30日(2023.5.30)

【国際公開番号】WO2022/269683

【出願番号】特願2022-549974(P2022-549974)

【国際特許分類】

G 0 6 F 2 1 / 3 1 (2 0 1 3 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 F 2 1 / 3 1

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月19日(2022.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

第1ユーザが第1場所にいる又は来た場合に、前記第1ユーザに関する第1認証を実行可能な第1認証手段と、

前記第1場所への来訪予定に関する予定情報に基づいて、前記第1ユーザが前記第1場所にいる又は来る第1予定日又は第1予定日時に、前記第1認証で前記第1ユーザとして認証される可能性がある第2ユーザが前記第1場所にいる又は来るか否かを判定する予定判定手段と、

前記第1予定日又は前記第1予定日時に、前記第2ユーザが前記第1場所にいる又は来ると判定されない場合に、前記第1認証に基づいて、前記第1ユーザに関する第1処理を実行する処理実行手段と、

を含む認証システム。

30

【請求項2】

前記認証システムは、前記第1ユーザが前記第1場所にいる又は来た場合に、前記第1ユーザに関する第2認証を実行可能な第2認証手段を更に含み、

前記処理実行手段は、前記第1予定日又は前記第1予定日時に、前記第2ユーザが前記第1場所にいる又は来ると判定された場合に、前記第1認証と、前記第2認証と、に基づいて、前記第1処理を実行する、

請求項1に記載の認証システム。

【請求項3】

前記認証システムは、前記第1ユーザが前記第1場所にいる又は来た場合に、前記第1ユーザに関する第2認証を実行可能な第2認証手段を更に含み、

40

前記処理実行手段は、前記第1予定日又は前記第1予定日時に、前記第2ユーザが前記第1場所にいる又は来ると判定された場合に、前記第1認証には基づかずに前記第2認証に基づいて、前記第1処理を実行する、

請求項1に記載の認証システム。

【請求項4】

前記認証システムは、前記第1予定日又は前記第1予定日時に、前記第2ユーザが前記第1場所にいる又は来ると判定された場合に、前記第1ユーザが前記第1場所にいる又は来る前に、前記第2ユーザが前記第1場所にいる又は来たか否かを判定する第2ユーザ判定手段を更に含み、

前記処理実行手段は、前記第1ユーザが前記第1場所にいる又は来る前に、前記第2ユ

50

ーザが前記第 1 場所にいる又は来たと判定された場合に、前記第 2 認証には基づかずに前記第 1 認証に基づいて、前記第 1 処理を実行する、

請求項 2 又は 3 に記載の認証システム。

【請求項 5】

前記第 1 ユーザは、任意の日又は日時を、前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時として指定可能であり、

前記認証システムは、前記予定情報に基づいて、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来る第 2 予定日又は第 2 予定日時が前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時として指定されることを制限する制限手段を更に含む、

請求項 1 ~ 4 の何れかに記載の認証システム。

10

【請求項 6】

前記認証システムは、前記第 1 ユーザが前記第 1 認証とは異なる他の認証を指定した場合には、前記第 2 予定日又は前記第 2 予定日時が前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時として指定されることを許可する許可手段、

を更に含む請求項 5 に記載の認証システム。

【請求項 7】

前記認証システムは、前記第 1 ユーザが前記他の認証を指定した場合に、前記第 1 ユーザに、前記第 1 場所で前記第 1 認証を実行しないことを促す通知を送信する第 1 送信手段、

請求項 6 に記載の認証システム。

20

【請求項 8】

前記第 2 ユーザは、前記第 1 予定日時と同じ日における第 2 予定日時に、前記第 1 場所にいる又は来る予定であり、

前記認証システムは、前記第 1 ユーザに、前記第 1 予定日時に前記第 1 場所で前記第 1 認証を行うことと、前記第 1 予定日時と同じ日における他の時間に前記第 1 場所にいる又は来る場合には他の認証を利用することと、を促す通知を送信する第 2 送信手段を更に含む、

請求項 1 ~ 7 の何れかに記載の認証システム。

【請求項 9】

前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時には、前記第 1 ユーザを含む複数のユーザが前記第 1 場所にいる又は来る予定であり、

前記認証システムは、前記複数のユーザの各々の認証情報を予めデータベースから抽出する抽出手段を更に含む、

前記第 1 認証手段は、前記データベースから抽出された前記複数のユーザの各々の前記認証情報に基づいて、前記複数のユーザの各々に関する前記第 1 認証を実行する、

請求項 1 ~ 8 の何れかに記載の認証システム。

30

【請求項 10】

前記認証システムは、前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時に、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来ると判定された場合に、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所とは異なる敷地における第 2 場所にいた又は来た第 2 時間に関する第 2 時間情報と、前記第 2 場所に関する第 2 場所情報と、の少なくとも一方に基づいて、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいない又は来ない予測期間を予測する予測手段を更に含む、

前記処理実行手段は、前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時に、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来ると判定された場合に、前記予測期間に実行された前記第 1 認証に基づいて、前記第 1 処理を実行する、

請求項 1 ~ 9 の何れかに記載の認証システム。

40

【請求項 11】

前記予測手段は、

前記第 1 場所に関する第 1 場所情報と、前記第 2 場所情報と、に基づいて、前記第 1 場所と前記第 2 場所との距離を取得し、

50

前記第 2 時間情報と、前記距離に応じた移動時間と、に基づいて、前記予測期間を予測する、

請求項 10 に記載の認証システム。

【請求項 12】

前記第 2 場所情報は、前記第 1 場所に関する予約を受け付けるためのアプリケーションとは異なる他のアプリケーションを利用して取得された位置に関する情報である、

請求項 10 又は 11 に記載の認証システム。

【請求項 13】

前記第 1 ユーザ及び前記第 2 ユーザの各々は、前記第 1 場所にチェックイン可能であり

10

、
前記第 1 認証は、生体認証であり、

前記予定情報は、前記第 1 場所へのチェックインの予定に関する情報である、

前記第 2 ユーザは、前記生体認証で利用される生体情報が前記第 1 ユーザと類似するユーザであり、

前記第 1 処理は、前記第 1 場所にチェックインするための処理である、

請求項 1 ~ 13 の何れかに記載の認証システム。

【請求項 14】

第 1 ユーザが第 1 場所にいる又は来た場合に、前記第 1 ユーザに関する第 1 認証を実行可能な第 1 認証ステップと、

前記第 1 場所への来訪予定に関する予定情報に基づいて、前記第 1 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来る第 1 予定日又は第 1 予定日時に、前記第 1 認証で前記第 1 ユーザとして認証される可能性がある第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来るか否かを判定する予定判定ステップと、

20

前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時に、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来ると判定されない場合に、前記第 1 認証に基づいて、前記第 1 ユーザに関する第 1 処理を実行する処理実行ステップと、

を含む認証方法。

【請求項 15】

第 1 ユーザが第 1 場所にいる又は来た場合に、前記第 1 ユーザに関する第 1 認証を実行可能な第 1 認証手段、

30

前記第 1 場所への来訪予定に関する予定情報に基づいて、前記第 1 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来る第 1 予定日又は第 1 予定日時に、前記第 1 認証で前記第 1 ユーザとして認証される可能性がある第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来るか否かを判定する予定判定手段、

前記第 1 予定日又は前記第 1 予定日時に、前記第 2 ユーザが前記第 1 場所にいる又は来ると判定されない場合に、前記第 1 認証に基づいて、前記第 1 ユーザに関する第 1 処理を実行する処理実行手段、

としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

40

50